

## 1 プログラムテーマ

ごみ減量、リサイクル

## 2 プログラム概要

資源に限りがあることを知り、ものを大事にする気持ちを持ち、リサイクルなどごみを減らす取り組みにつなげる。

## 3 プログラムの目標

- ① 今おこっている大変なこと（ごみがなかなか減らない、捨てる場所が少なくなっていること）を理解して、なぜ資源回収やリサイクルを行うかを考える。
- ② カードゲームを通して、資源とごみの流れを学ぶ。
- ③ ごみを減らす工夫（3R）とリサイクルについて学ぶ。
- ④ 自分たちが身近なところでできるごみを減らす工夫を考える。

## 4 対象

小学校高学年

## 5 プログラム

### I 室内学習（座学）

時間	学習目標	進行シナリオ
	あいさつ	<b>【あいさつ】</b> 「みなさんこんにちは。これからごみ減量、リサイクルについて一緒に勉強したいと思います」 <b>【自己紹介】</b> ・ 普段の活動（仕事）について ・ 地球温暖化防止活動推進員になったきっかけ など 「まずは自己紹介をします。私は〇〇と申します。普段は〇〇をしています。 ・・・がきっかけで、地球温暖化防止活動推進員になりました。今日はよろしくおねがいします。」
10分	①導入 今おこっている大変なこと（ごみが減らない、捨てる場所が少なくなっていること）を理解して、なぜ	<b>【スモーキーマウンテンの写真を提示】</b> 「まずはこの写真をみてください。男の子たちが山で遊んでいる写真に見えますが、これがどこの山か、なにでできている山なのかわかる人はいますか？後ろの山は何の山でしょうか。」 「じつは、この山は「ごみ」でできた山なのです。 これは、日本ではなく、外国のフィリピンのマニラ市というところにあります。 ここは、もとは漁村だったそうです。1954年にゴミの投棄場所となり、それ以来マニ

	<p>資源回収やリサイクルを行うかを考える。</p>	<p>ラ市内のゴミが運び込まれ続けてきました。長い期間、運び込まれてきたゴミが積み、高さ30メートルの山が出来ました。</p> <p>そのゴミが自然発火して常に、煙を上げていることから、スモークマウンテンと呼ばれています。</p> <p>これはフィリピンの話ですが、例えば日本でもこのようにごみが増えすぎて、処理できなくなった場合に、わたしたちの生活にも多大な影響が出てくるかもしれません。」</p> <p><b>【店頭回収の写真を提示】</b></p> <p>「つぎの写真ですが、ここからは日本のお話です。</p> <p>みなさんこの写真に写っているようなところ、どこかで見たことありますか？」</p> <p>「これはスーパーなどで行っている店頭回収の写真です。実際にこの回収箱になにか入れたことがある人はいますか？」</p> <p><b>【資源回収の写真を提示】</b></p> <p>「つぎに、この写真ですが何をしている写真かわかりますか？」</p> <p>「これは資源回収をしている様子です。</p> <p>店頭回収や資源回収を行い、牛乳パックやトレー、古紙などを回収し、もう一度資源として利用します。</p> <p>このしくみをなんというかわかりますか？」</p> <p>「この仕組みをリサイクルと言います。リサイクルとは、いらなくなったものやゴミをそのまま捨てないで、もう一度資源として利用することをいいます。」</p>
<p>15分</p>	<p>②カードゲームを通して、資源とごみの流れを学ぶ。</p>	<p>「ここで、リサイクルについてゲームをしてみようと思います。」</p> <p><b>【カードゲームの実施】</b></p> <p><b>【答え合わせ】</b></p> <p>「紙：紙は家庭、お店、会社、印刷工場などさまざまな場所から回収され、種類ごとに分けて製紙工場に運ばれ、もう一度「紙」に生まれ変わります。</p> <p>ペットボトル：ペットボトルは、きれいに洗われた後に細かく砕かれ、さらに必要な加工がなされてからもう一度「ペットボトルの原料」や「ペットボトル以外のものの原料」として使用されます。</p> <p>缶：回収されたスチール缶は、1,000個以上まとめて押しつぶされて、鉄の原料（鉄スクラップ）となります。その後、鉄を作る工場に運ばれ、そこで高温で溶かされて、さまざまな鉄製品に生まれかわります。</p> <p>このように、私たちが使い終わったものを分別してごみ出しすると、もう一度資源に</p>

		戻す仕組みができます。その分、ごみを燃やす量と、埋め立てる量をへらすことができます。またこの天然資源を使う量をへらすことができます。この天然資源はいつまでもあるものではなく、いつかなくなってしまうものなのです。」
5分	③ごみを減らす工夫（3R）があることを理解する。	<p>「ごみを減らし、活かすためには他にも方法があります。「ごみゼロやまがた推進 BOOK」をみてください。心がける順番に、リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リデュース（Reduce）：無駄なごみの量をできるだけ少すくなくすること</li> <li>・リユース（Reuse）：一度使ったものをごみにしないで何度も使うこと</li> <li>・リサイクル（Recycle）：使い終わったものをもう一度資源に戻して製品を作ること</li> </ul> <p>英語で書くと文字の先頭がみんな「R」なので、3R（スリーアール）とよんでいます。」</p>
10分	⑤自分たちが身近なところでできることを考える。	<p><b>【付箋（ワークシート）を使用】</b></p> <p>「最後に、自分たちが身近なところでできることを考えてみましょう。ゴミを増やさないために、自分ができることを考えて付箋に書いてみましょう」</p> <p><b>【各自記入】</b></p> <p>「自分ができることを発表してもらいたいと思います。」</p> <p><b>【発表】</b></p> <p>「ありがとうございました」</p>
5分	まとめ	<p>「これで今日のごみ減量、リサイクルについての学習は終わりますが、今日考えてもらった“自分たちが身近なところでできること”をこれからの暮らしの中で実施して、ものを大切に、ごみを増やさない生活を心がけてみてください。</p> <p>今日はありがとうございました。」</p>